

## 1. 学歴

2007年 3月 慶應義塾大学商学部卒業  
2009年 3月 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了  
2012年 3月 慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学  
2015年 3月 商学博士(慶應義塾大学)

## 2. 職歴・研究歴

2009年 4月 - 2012年 3月 日本経済研究センター研究部(2010年4月より研究員)  
2012年 4月 - 2019年 3月 医療経済研究機構研究部研究員(2014年4月より主任研究員)  
2019年 4月 - 一橋大学大学院経済学研究科准教授

## 3. 学内教育活動

### A. 担当講義名

#### (a) 学部学生向け

医療経済論Ⅰ

#### (b) 大学院

計量経済分析

### B. ゼミナール

学部、大学院

### C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部では医療経済論Ⅰとゼミナールを担当している。ゼミナールでは、医療経済とデータ解析を指導している。学生が現実社会の諸問題を解決するためのツールとして経済学を使ってくれよう指導したい。国際・公共政策大学院では計量経済分析を担当している。履修者がさまざまなフィールドで統計的手法を実地に生かせるように指導したい。

## 4. 主な研究テーマ

### (1) 医療経済学

医療経済分野では、これまで①医療保険政策の効果推定、②医療・介護の労働市場、③病院に対する支払制度、④自治体レベルの地域医療政策、⑤医療保険財政などを対象として実証分析を行ってきた。医療・介護分野は既にビッグデータの時代となっている。貴重な社会資源であるデータを、隣接する諸分野(疫学、医療社会学、政治学)と共同しながら政策形成に役立てることを念頭に研究を続けている。

## (2) 家族政策

これまで、学童保育の不足や、子どもの性別と両親の well-being の関連などについて研究した。また医療政策と一部重なるが、子どもに対する医療保障政策についても継続的に研究している。

## 5. 研究活動

### A. 業績

#### (b) 論文(査読つき論文には\*)

- \* 「夜勤労働の均等化差異—介護労働市場における実証分析—」『季刊社会保障研究』, 2009 年。
  - \* 「危険を伴う職場に対する労働供給：介護労働者の罹災に関する実証分析」『日本経済研究』, 2011 年。
  - \* 「自治体はがん検診の受診率を向上させたいのか？：個別検診の実施に関する実証分析」『医療と社会』, 2011 年。  
"Fiscal Disparities among Social Health Insurance Programs in Japan," (Bessho, S., Nishimura, S., Ikegami, N. との共著), *Universal Health Coverage for Inclusive and Sustainable Development: Lessons from Japan*, 2014.
  - \* "Prediction of Gastric Cancer Development by Serum Pepsinogen Test and Helicobacter pylori Seropositivity in Eastern Asians: A Systematic Review and Meta-Analysis," *PLoS ONE*, 2014.
  - "Labor Supply in Workplaces with Inherent Hazards," *Japanese Economy*, 2014.
  - \* 「公的健康保険における保険料差・安定化・再分配」(別所俊一郎との共著)『三田学会雑誌』, 2015 年。
  - \* 「児童手当が両親の心理的健康に与える影響：中低所得世帯における検証」『季刊社会保障研究』, 2015 年。
  - \* "Effects of Reduced Cost-Sharing on Children's Health: Evidence from Japan," *Social Science & Medicine*, Vol.151, 2016, pp.46-55.
  - \* "Affordable False Teeth: The Effects of Patient Cost-sharing on Denture Utilization and Subjective Chewing Ability," *The B.E. Journal of Economic Analysis & Policy (Contributions)*, Vol.16, No.3, 2016, 1387-1438.
  - \* "Do Benefits in Kind or Refunds Affect Health Service Utilization and Health Outcomes? A Natural Experiment from Japan," (別所俊一郎との共著), *Health Policy*, Vol.121, No.5, 2017, pp.534-542.
  - \* "Effect of Patient Cost-Sharing on Health Care Utilization among Low-Income Children," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.58, No.1, 2017, pp.69-78.
  - \* "Political Cycles in Physician Employment: A Case of Japanese Local Public Hospitals," (別所俊一郎との共著), *Social Science & Medicine*, Vol.216, 2018, pp.97-106.
  - \* "First Daughter Effects in Japan," *Journal of the Japanese and International Economies*, Vol.5, 2018, pp.48-59.
  - \* "The Wall for Mothers with First Graders: Availability of Afterschool Childcare and Continuity of Maternal Labor Supply in Japan," *Review of Economics of the Household*, Vol.17, No.1, 2019, pp.177-199.
  - \* "Payment Methods and Hospital Length of Stay: A Bunching-based Evidence," (山岡淳との共著), *International Journal of Health Economics and Management*, Vol.19, No.1, 2019, pp.53-77.
  - \* "The Dedicated Emergency Physician Model of emergency care is associated with reduced pre-hospital transportation time: A retrospective study with a nationwide database in Japan," (Higashi H, Yamaoka A, Lefor AK, Shiga T. との共著), *PLoS ONE*, 2019.
- 「小学校一年生の壁と日本の放課後保育」『日本労働研究雑誌』, 2019 年。
- \* "Helicobacter pylori eradication treatment for gastric carcinoma prevention in asymptomatic or dyspeptic adults: systematic review and Bayesian meta-analysis of randomised controlled trials," (Terasawa T, Hamashima C, Kato K, Miyashiro I, Yoshikawa T, Nishida H との共著), *BMJ Open*, 2019.

- \* "Reversal pattern of health inequality: New evidence from a large-scale national survey in Japan," *Health Policy*, 2020.
  - \* "How is increased selectivity of medical school admissions associated with physicians' career choice? A Japanese experience," *BMC Human Resources for Health*, 2020.
  - \* "Factors associated with difficulty of hospital acceptance of patients suspected to have cerebrovascular diseases: A nationwide population-based observational study," (Sato, N., Higashi, H., Lefor, A. K., & Shiga, T.との共著), *Plos one*, 2021.
  - \* "What the COVID-19 School Closure Left in Its Wake: Evidence from a Regression Discontinuity Analysis in Japan," (Izumi Yokoyama との共著), *Journal of Public Economics*, 2021.
  - \* "Medical expenditure after marginal cut of cash benefit among public assistance recipients in Japan: natural experimental evidence," (Nishioka D, Kondo N.との共著), *J Epidemiol Community Health*, Published Online First: 12 <https://doi.org/10.1136/jech-2021-217296>, 2021.
  - "Vaccination under the Pandemic and Political Support," (Masaki Takahashi, Toyo Ashida, Yoko Ibuka との共著) *medRxiv*, 2022.
  - \* "SARS-CoV-2 suppression and early closure of bars and restaurants: a longitudinal natural experiment," *Sci Rep* 12, 12623 (2022). <https://doi.org/10.1038/s41598-022-16428-4> (Yokoyama, I., Tabuchi, T. 等との共著)
  - \* "The Financial Health of “Swing Hospitals” during the First COVID-19 Outbreak," (Izumi Yokoyama との共著), *Journal of the Japanese and International Economies*, 101218, 2022.
- 「平均的な外出のコロナ感染リスクは限定的 —私権制限やめ平時の体制へ移行を」(田原 健吾, 大竹文雄等との共著), *JCER Discussion Paper*, No 156, 2022 年。
- 「ポストコロナに向けた子どもたちの学校生活の現状 —2022 年 6 月の学校生活調査の結果と予備的解析—」(王明耀との共著), 『社会保障研究』, Vol.7(3), 2022 年。

## B. 最近の研究活動

### (a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には\*)

- "Can You Work for 24 Hours?: Trade-off Between Health and Household Wealth Accumulation in Japanese Baby Boomer Generation," 日本経済学会, 2018 年 6 月。
- "Detecting Waste in Health Care via Hospital Sorting," Econometric Society China Meeting, 上海, 2018 年 6 月。
- "Detecting Waste in Health Care via Hospital Sorting," HIAS Health 定例研究会, 一橋大学, 2018 年 6 月。
- "Detecting Waste in Health Care via Hospital Sorting," European Health Economic Association, 2018 年 7 月。
- "Physicians Responses to Medical Subsidy Programs: Evidence from Japan," 公共経済ワークショップ, 一橋大学, 2018 年 7 月。
- "Physicians Responses to Medical Subsidy Programs: Evidence from Japan," 医療経済学会, 東京大学, 2018 年 9 月。
- "Physicians' responses to medical subsidy programs: evidence from Japan," Health Economics Workshop, 慶應義塾大学, 2018 年 10 月。
- "Physicians' Responses to Medical Subsidy Programs: Evidence from Japan," Asian workshop on econometrics and health economics, 京都, 2018 年 12 月。
- "Maternal Labor Supply, Childcare, and the Health of Preschool Children in Japan," 応用経済学ワークショップ, 2019 年 5 月。

"Testing for Monopsony in the Labor Market of Nurses," 医療経済学会, 国際医療福祉大学, 2019 年 9 月。

"Physicians' Responses to Medical Subsidy Programs: Evidence from Japan," American Economic Association, San Diego, 2020 年 1 月。

"The Financial Health of "Swing Hospitals" during the First COVID-19 Outbreak," 東京大学財政・公共経済ワークショップ, 2021 年 5 月。

"The Financial Health of "Swing Hospitals" during the First COVID-19 Outbreak," 武蔵経済セミナー, 2021 年 5 月。

"Vaccination under the Pandemic and Political Support," 神戸大学六甲フォーラム, 2022 年 4 月。

"Vaccination under the Pandemic and Political Support," 東北大学経済セミナー, 2022 年 4 月。

### (b) 国内研究プロジェクト

厚生労働科学研究費「我が国における望ましい医療・介護提供体制の在り方に関する保健医療データベースのリンクを活用した課題の提示と実証研究」(研究代表者), 2018-2019 年度。

科学研究費若手研究(B)「地域医療体制の確立に向けた医療供給者行動の準実験的実証研究」(研究代表者), 2018-2021 年度。

---

## 6. 学内行政

### (b) 学内委員会

図書委員会 (2020 年 4 月 - )

---

## 7. 学外活動

### (a) 他大学講師等

2017 年 9 月 - 2019 年 3 月 早稲田大学公共経営大学院 非常勤講師

### (b) 所属学会および学術活動

医療経済学会, International Health Economics Association, American Economic Association,  
財政学会, 日本経済学会

### (d) 高校生向けの出張講義・模擬講義

埼玉県立春日部高校, 2021 年 10 月

### (e) その他(公的機関・各種団体・民間企業等における講演等)

「コロナ禍における日本の医療制度の課題」 経団連/医療・介護改革部会, 2021 年 9 月

「コロナ禍における東京都の病院経営分析」 一橋大学政策フォーラム「エビデンスでみるコロナ禍: ポストコロナ社会への示唆」, 2021 年 9 月

「コロナ禍における日本の医療制度の課題」 経済産業研究所(RIETI)「新型コロナ対策から EBPM を考える」, 2021 年 12 月

「コロナが問う医療提供体制の課題」 如水会監査役懇話会, 2022 年 1 月

「コロナが問う医療提供体制の課題」 経済産業研究所(RIETI), 2022 年 3 月

## 8. 官公庁各種審議会・委員会等における活動

東京都地域医療構想アドバイザー（2019年4月 - ）

全世代型社会保障構築会議 構成員（2021年11月 - ）

## 9. 一般的言論活動

週刊東洋経済「「小1の壁」克服に必要な学童の質向上」（2019年3月）

日経オンライン「コロナウイルス—子どもへの影響は？」（2020年6月）

週刊ダイヤモンド「70年代の私大医学部は「裏口入学率65%」の衝撃！現代医療界の構造問題」（2020年7月）

三田評論「コロナ禍における医療機関の連携」（2020年8月）

日本経済新聞「やさしい経済学」「コロナが問う医療提供の課題」（2021年5月）

週刊エコノミスト「医療経済で病床逼迫を検証する」（2021年7月）

プレジデント・オンライン「「病床があるはずなのにコロナ患者が入院できない」政府が見落としている医療体制の問題点」（2021年8月）

週刊エコノミスト「「感染が減ったのは緊急事態宣言を出したから」は真実なのか—誤った認識で政策を評価するリスク」（2021年10月）

週刊エコノミスト「エビデンスが突きつける「コロナ休校」の効果の薄さと見逃せない副作用」（2021年11月）

週刊エコノミスト「医学部入試の“難化”で高まる医師のキャリア志向と「地域医療崩壊」のリスク」（2021年12月）

週刊エコノミスト「「企業単位の健康保険」に限界が見えてきたと考えるのはなぜか」（2022年2月）

週刊エコノミスト「東京・大阪ではなぜ医療逼迫が続くのか 「集約化」でコロナの高波を切り抜けたロンドンとの大きな違い」（2022年3月）

朝日新聞「医学部の「東大理Ⅲ化」はマイナスか 海外で「くじ引き」導入の理由」（2022年4月）

週刊東洋経済「ワクチン政策への支持は接種後どう変わったか」（2022年7月）

岩波書店『世界』「医療界と社会の間 —コロナ禍と市民の声」（2023年1月）

プレジデント・オンライン「マスクを着用するとパフォーマンスが低下する」最新の研究が示した"高度な作業"ほど影響大という結果 感染リスクを見極めながら着用の基準を見直す時期にきている」（2023年1月）